

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	公民科・現代社会	単位数	2単位	履修学年	1年
目標	1．現代社会の諸問題に関して、偏見を排除して客観的な見方を養う。 2．自らを見つめ、自分の課題と将来の展望を探っていく。 3．意見を主張出来る力、他の人と主体的に連帯して社会を変革していく力を身につける。				
使用教材	教科書「現代社会」（実教出版）、及び 演習ノート、その他最新データ				
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	
	現代の社会と人間に関わる事柄についての関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけているか。	現代の社会と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて、広い視野に立って多面的に考察するとともに、社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断しているか。	諸資料を収集し、有用な情報を主体的に選択して、活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現しているか。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。	
評価方法	・学習内容についての質問等から関心度 ・定期考査での知識の定着度と記述問題の理解度		・プリントの提出度 ・プリント作業項目の完成度		
学期	学習内容		学習のねらい		
1	1．地球温暖化とは何か 2．温暖化防止のために何をすべきか 3．ごみはどれだけ発生しているか 4．使い捨て社会を改めよう 5．現代医学が問う生と死のあり方 6．脳死と臓器移植		・地球温暖化の現象について考える。 ・「環境白書」などを調べて具体的なデータを把握する。 ・「京都議定書」の内容及びアメリカはなぜ脱退したかを考える。 ・温暖化防止のための対策と私たちに何が出来るかを話し合う。 ・ごみがどれだけ発生しているかをデータを確認する。 ・不法投棄と処分場建設問題を考える。 ・ドイツのデュアルシステム及び日本の取り組みについて調べて、私たちは何をすべきかについて話し合う。 ・生殖への介入や命の選別は認められるのかについて考える。また、「尊厳死」について話し合う。		
2	7．遺伝子技術と生命 8．日常生活に生きる宗教とは 9．世界宗教は何を教えるのか 10．日本人と宗教 11．なぜゆたかさを実感できないのか 12．ともに生きる社会をめざして		・経済大国でありながら、生活小国といわれるのはどうしてかを考える。また、ゆたかさについて話し合う。 ・障がい者との共生について考える。		
3	13．大衆社会 14．少子高齢社会 15．高度情報化社会 16．国際化の時代		・大衆社会の特徴について考える。官僚制について理解する。 ・リースマンの「他人指向型」について考える。 ・少子高齢化の実態について知る。 ・少子高齢社会の課題について考える。 ・IT革命について知る。 ・情報化社会の課題について考える。 ・情報化社会をどのように生きていったらいいかを話し合う。 ・国際化の実態を知るとともに、文化の共生を探る。		
学習上の留意点	自分の手で探し、自分の目で見て確認し、自分の頭で吟味し、人の意見をしっかり聞く態度を身につけられる学習内容にするので、学習に際して、意識して積極的に取り組んでください。				